



決算説明会

2010年(平成22年)5月21日

ネツレン


高周波熱錬株式会社



I 経営推移と緊急経営改善への取り組み

II 第11次中期経営計画「革新への挑戦と飛躍・65」

III 2010年(平成22年)3月期 連結決算の概要

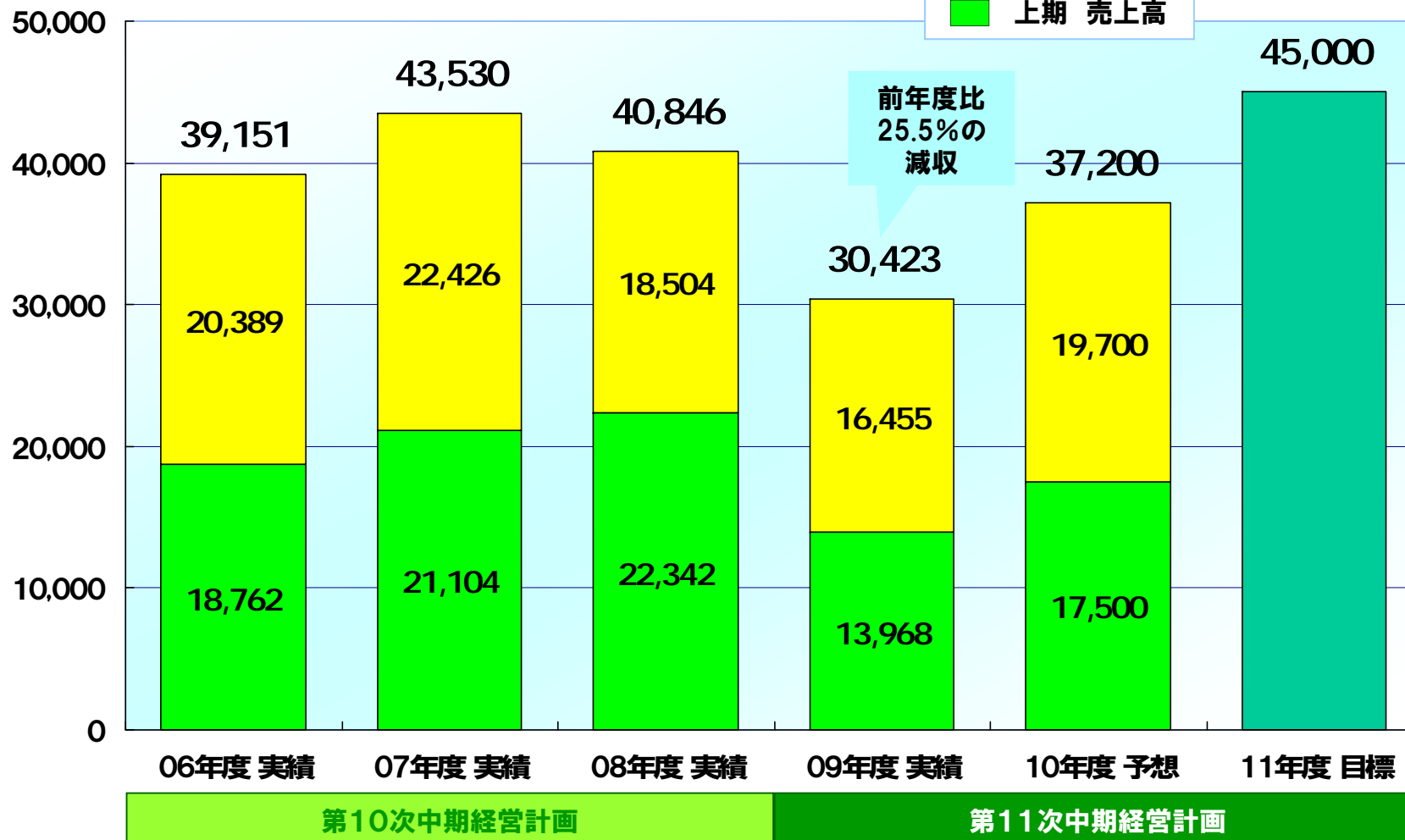


I 経営推移と緊急経営改善への取り組み

1

連結売上高

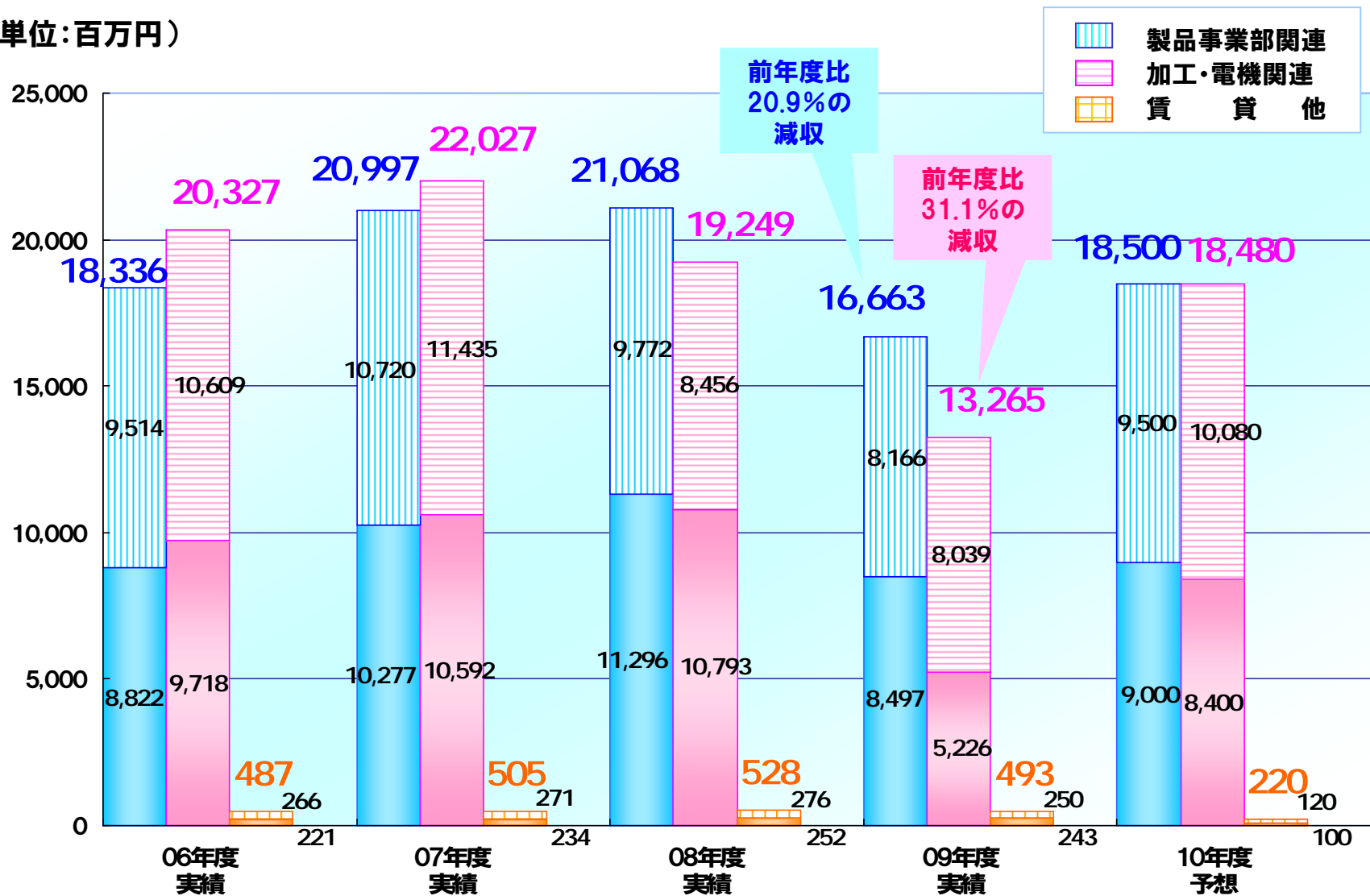
(単位:百万円)



2

事業の種類別セグメント情報(連結売上高)

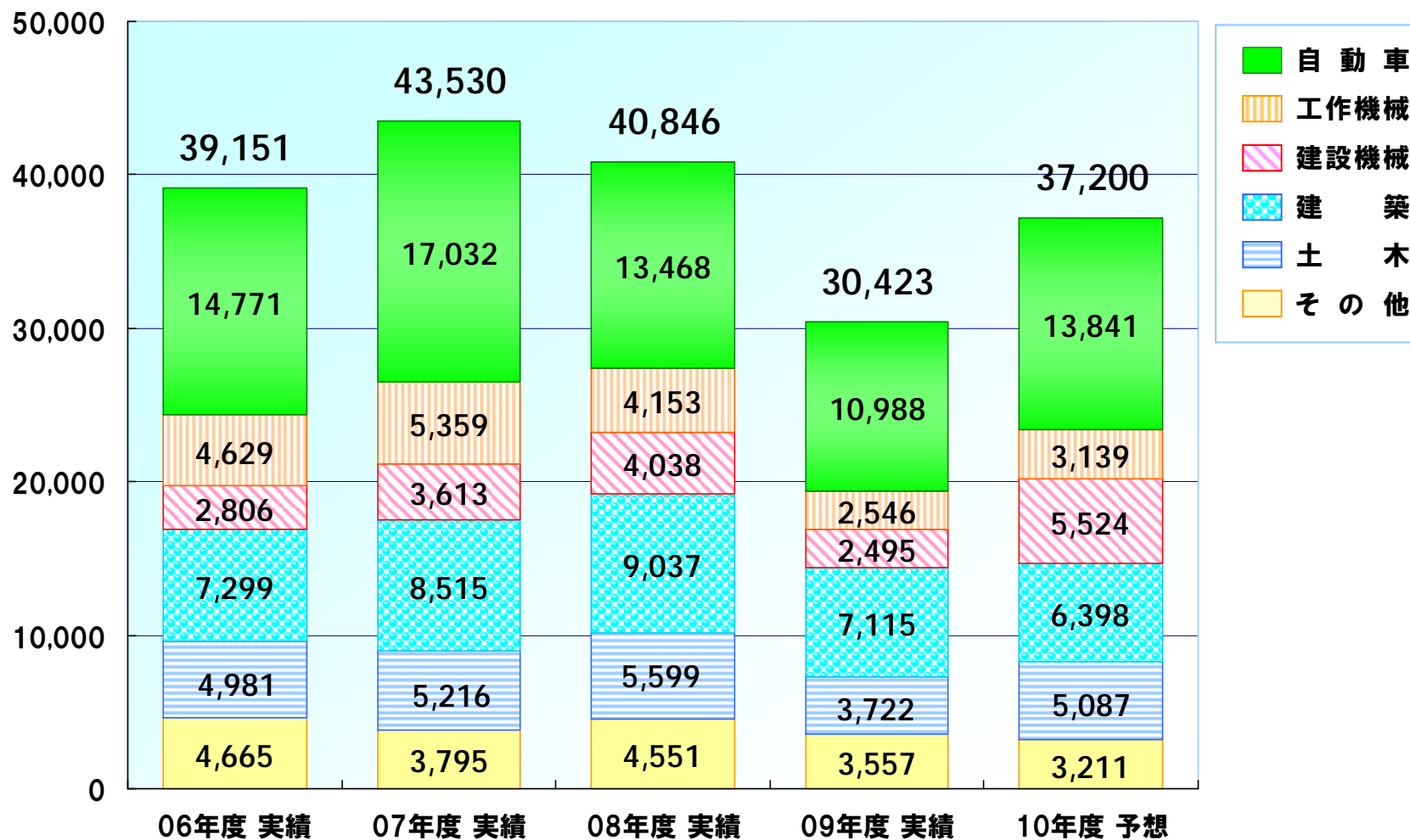
(単位:百万円)



3

業界別売上高

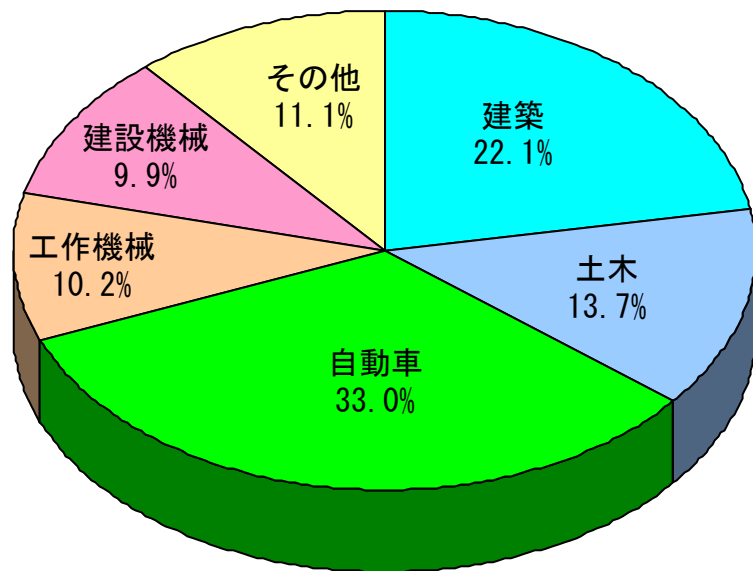
(単位:百万円)



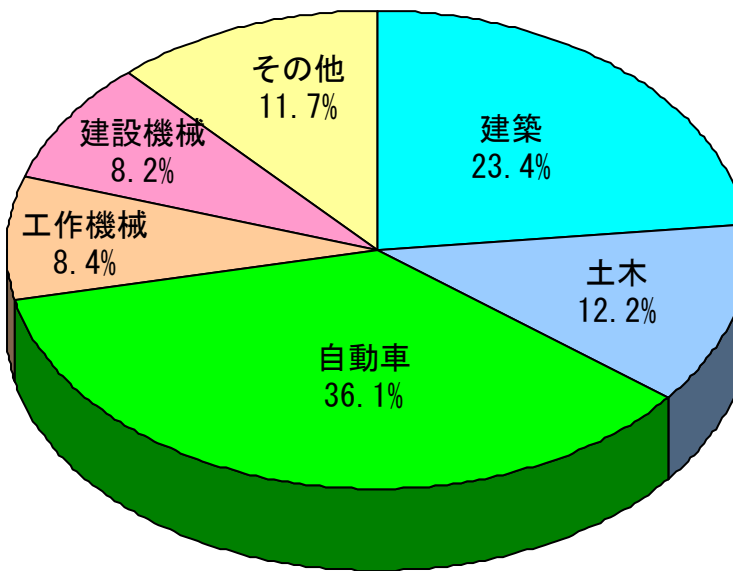
4

業界別売上高比率

2008年度実績



2009年度実績

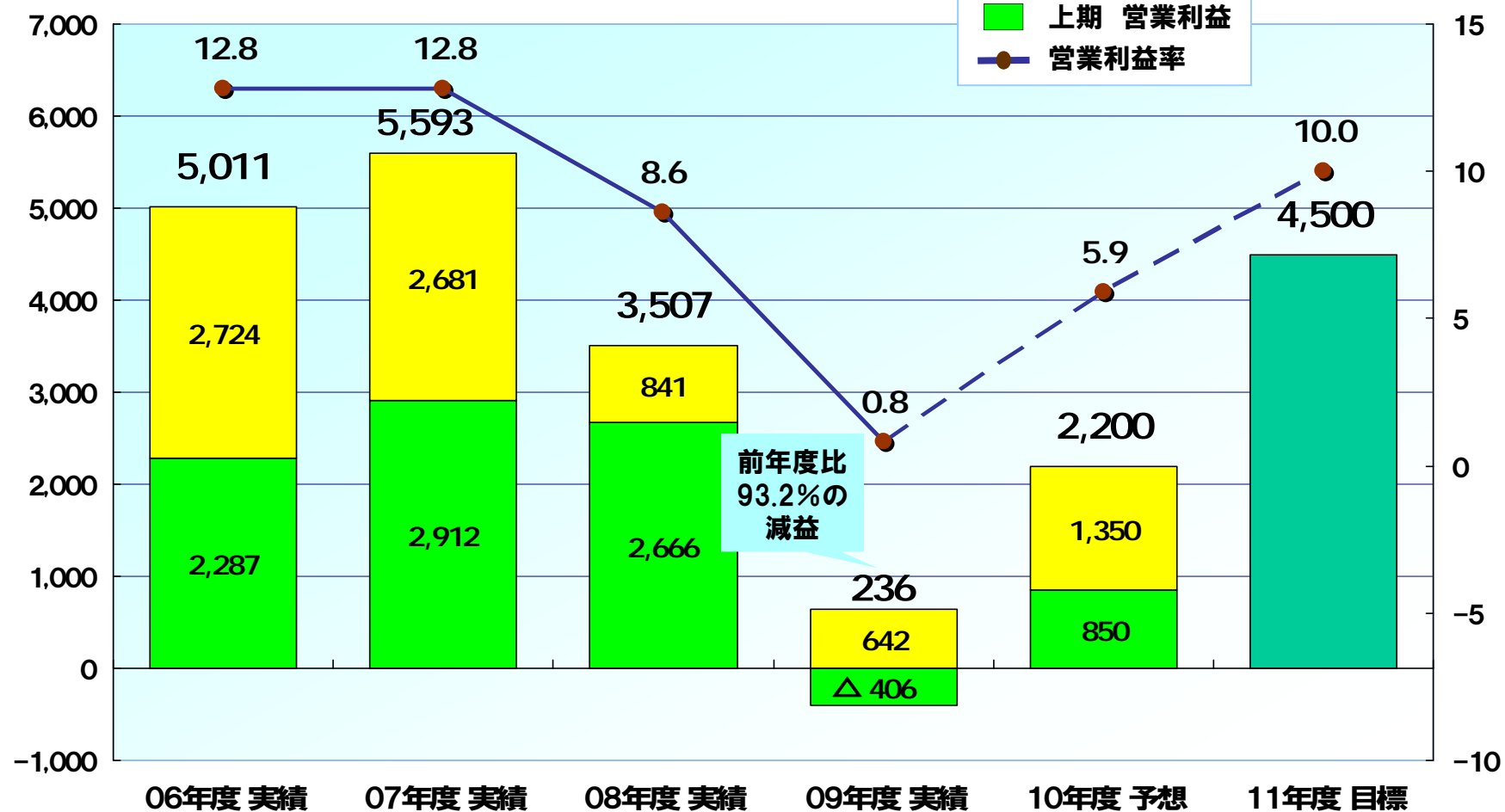


5

営業利益・営業利益率

(単位:百万円)

(単位:%)



第10次中期経営計画

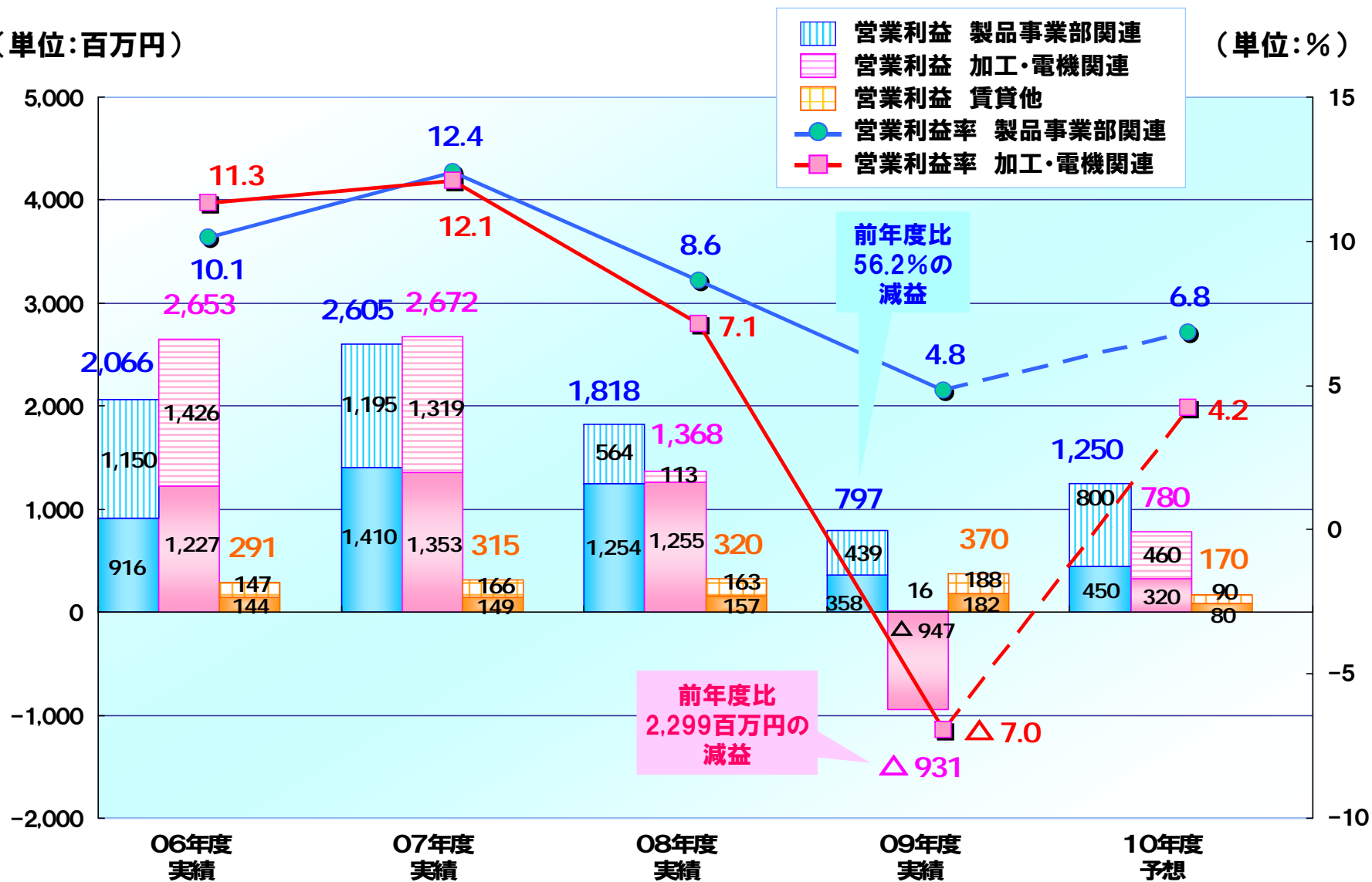
第11次中期経営計画

6

事業の種類別セグメント情報(営業利益・営業利益率)

(単位:百万円)

(単位:%)



原価管理委員会の設置と全社横断的な原価改善

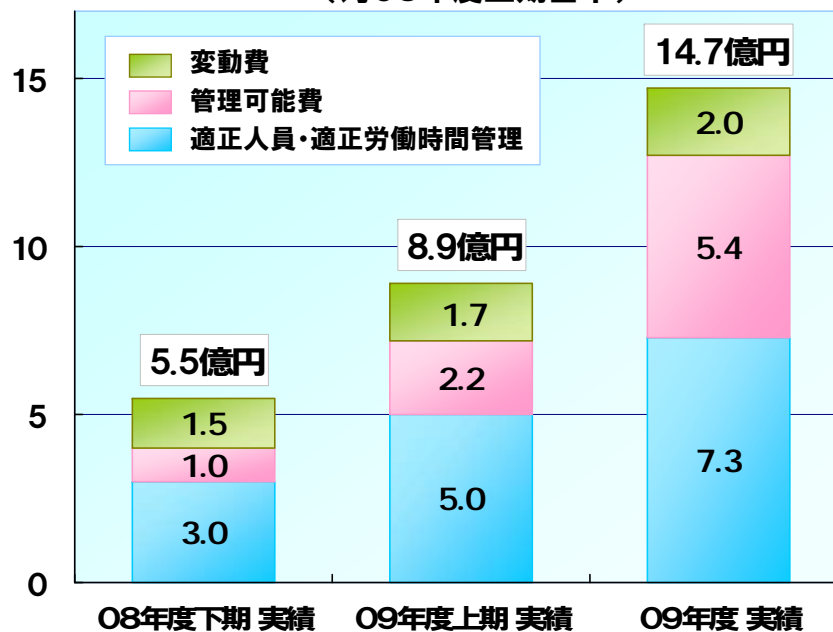
経営基盤とネットブランドを堅持しつつ

“聖域なきコストダウンと全ての業務効率化の実現”

ネット個別 原価改善の推移

(単位:億円)

(対08年度上期基準)



適正人員・適正労働時間管理への取り組み

⇒ 受注回復においても人員と時間外の抑制に努力

管理可能費の削減

⇒ 継続して支出を抑制

変動費の削減(生産性改善)

⇒ 原単位維持・改善に注力

発想を変えた更なるムダの排除と単価・原単位の改善！

09年度 生産革新活動の取り組み

スローガン：『モノづくり“ネットレン・ウェイ”の徹底』
～ 原価革新を目指した生産革新活動 ～


目 標： 人生産性の維持と改善 品質保証の徹底

対象部門： 2事業部10工場と管理本部（本社部門）

【09年度の投資と成果】

項 目	成 果
投 資	0.8億円
利 益 効 果	※約1.7億円
資 産 効 果	約1.1億円
リ ー ド タ イ ム 短 縮	維持（受注変動に対して）
人財の育成（改善マイスター等）	新規に10名を育成

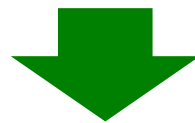
※緊急経営改善策の実行に伴う適正人員・適正労働時間管理への取り組みによる効果は含まない。



II 第11次中期経営計画「革新への挑戦と飛躍・65」

第11次中期経営計画では第10次中期経営計画の「成長戦略」を継承し、「人財の確保と育成」を加え更なる飛躍を目指す。

1. 成長戦略の遂行
2. 事業基盤の強化
3. 高効率化の追求
4. 人財の確保と育成



革新への挑戦と飛躍・65

【趣 旨】

2012年3月期に連結の営業利益率10%以上を目標とし、その結果、ネットグループの企業価値の向上を目指す。

【連結経営目標】

	2012年3月期 目標
売 上 高	450億円以上
営 業 利 益	45億円以上
営 業 利 益 率	10%以上
ROA(総資産経常利益率)	7%以上
ROE(株主資本純利益率)	6%以上

基本 方針

第11次中期経営計画達成のため、経営課題を明確にし、「経営改革プロジェクト」の7分科会により経営改革を推進し、経営基盤を強化する。

経営改革プロジェクトの編成

【分科会活動】

- (1) 新商品の早期事業化と収益貢献
- (2) 生産拠点の再編成
- (3) コイル事業の内製化
- (4) 事業の選択と集中
- (5) 原価改善の徹底
- (6) 設備投資の有効性向上と効率化
- (7) 人財の確保と育成

1. 新商品の開発・拡販

- (1) 新評価による高強度せん断補強筋1275(ウルボン)の建築分野および土木分野への拡販
- (2) 電動パワーステアリング用中空ラックバーの開発・拡販
- (3) ウルトラ焼入装置・ウルトラ電源装置の開発・拡販



高強度せん断補強筋1275



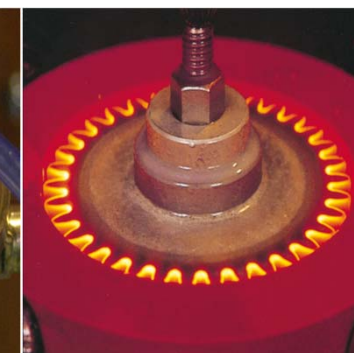
中空ラックバー

2. 新技術の開発・拡販

- (1) 2周波熱処理応用技術の開発と設備の拡販
- (2) 超急速加熱焼入れ(SRIQ)応用技術の開発・拡販
(SRIQ: Super Rapid Induction heating and Quenching)
- (3) 大型リング部品のソフトゾーンレス焼入れの開発
- (4) 加工技術の開発(先端加工技術センターの活用)



2周波熱処理



超急速加熱焼入れ

13 新規事業の推進

1. 新工場の量産体制の確立

- (1) 旋回輪マザー工場としての神戸工場の構築
- (2) 宝達志水分工場(石川県羽咋郡)の量産体制構築
- (3) 加賀分工場(石川県加賀市)の量産体制構築

2. 軸肥大加工の事業化

- (1) 自動車・建設機械・工作機械用部品
- (2) 幅広い材料への軸肥大加工の展開
(鋼材・SUS材・銅材・チタン材 等)



軸肥大加工



フロントフォーク
インナーチューブ

3. フロントフォークインナーチューブの事業化 (機械加工・熱処理一貫加工)

- (1) 可児工場(岐阜県可児市)での早期立ち上げ

4. 大型旋回輪・歯車熱処理加工の事業化

- (1) 尼崎工場(兵庫県尼崎市)の積極活用



大型旋回輪

14

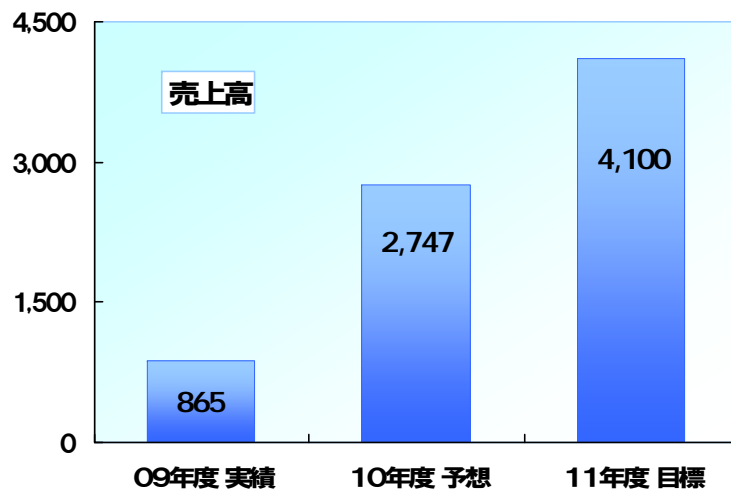
神戸工場の量産体制確立

機械加工・熱処理・組立一貫加工

(歯切・熱処理・穴あけ・旋削・組立・塗装)

1. 建設機械用小型旋回輪生産体制確立
2. 設備稼働率向上と適正人員への取り組みによる製造原価の低減
3. 中型旋回輪の受注

(単位:百万円)

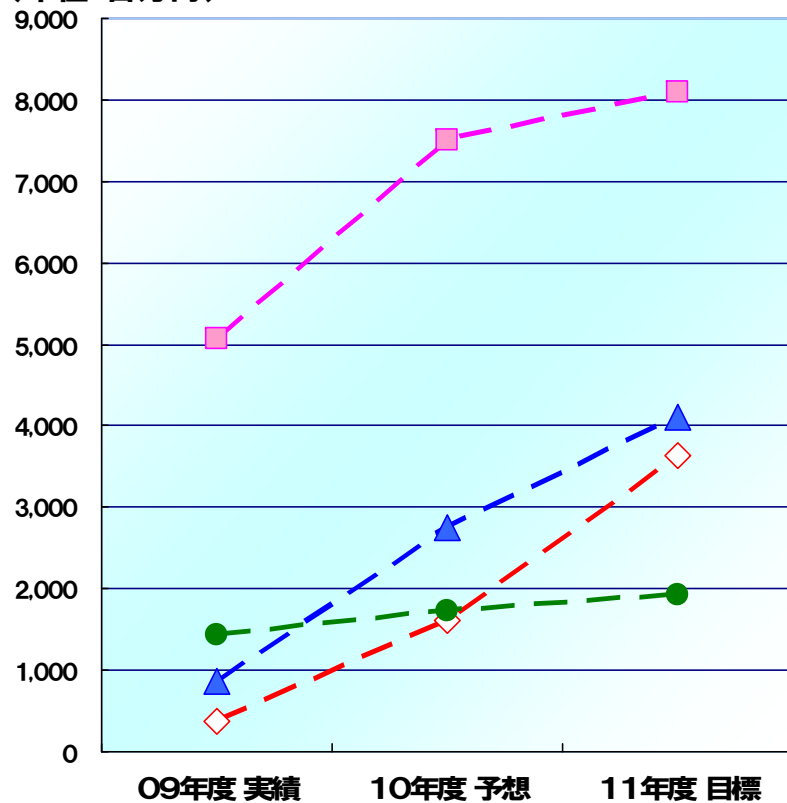


神戸工場

新商品・主要商品 売上高

- ◇ 新評定による高強度せん断棒鋼筋1275
- I TW(自動車・産業機械用)
- 中空ラックバー
- ▲ 機械加工・熱処理・組立一貫加工(神戸工場 旋回輪)

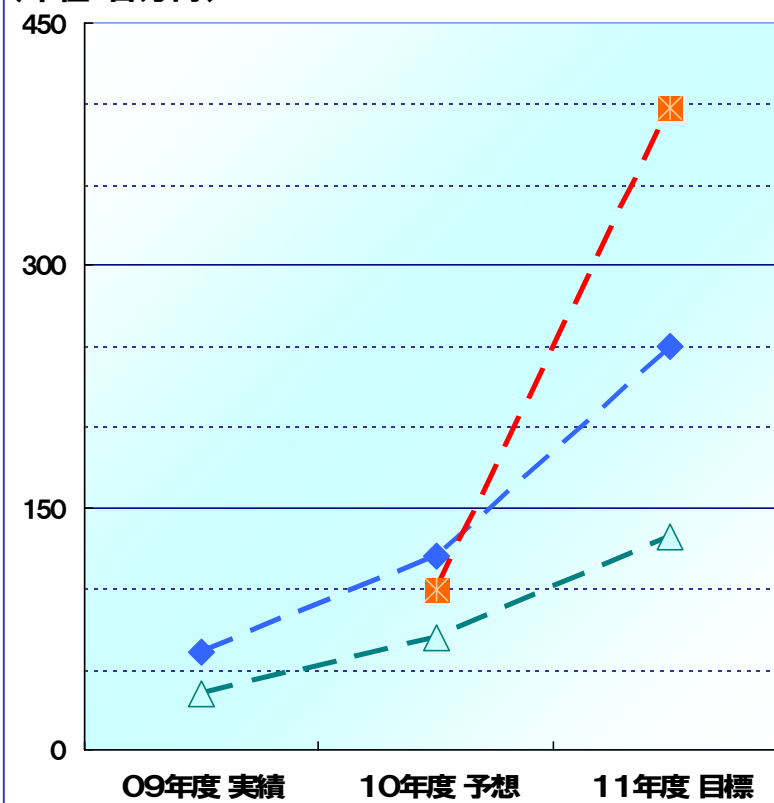
(単位:百万円)



新規事業 売上高

- ◆ 軸肥大加工
- ✖ フロントフォークインナーチューブ
- △ 大型旋回輪・歯車熱処理加工

(単位:百万円)

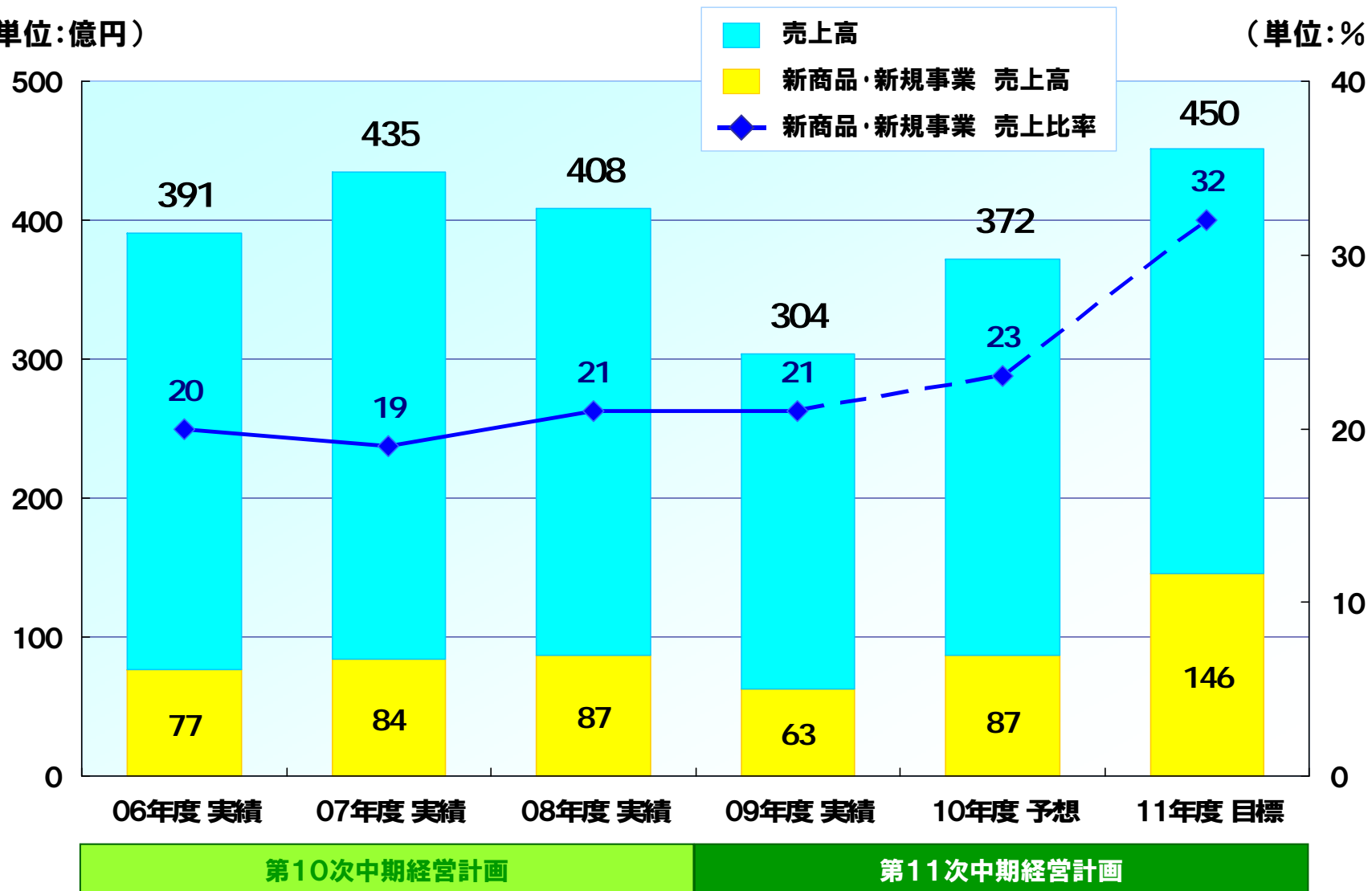


16

新商品・新規事業売上高

(単位:億円)

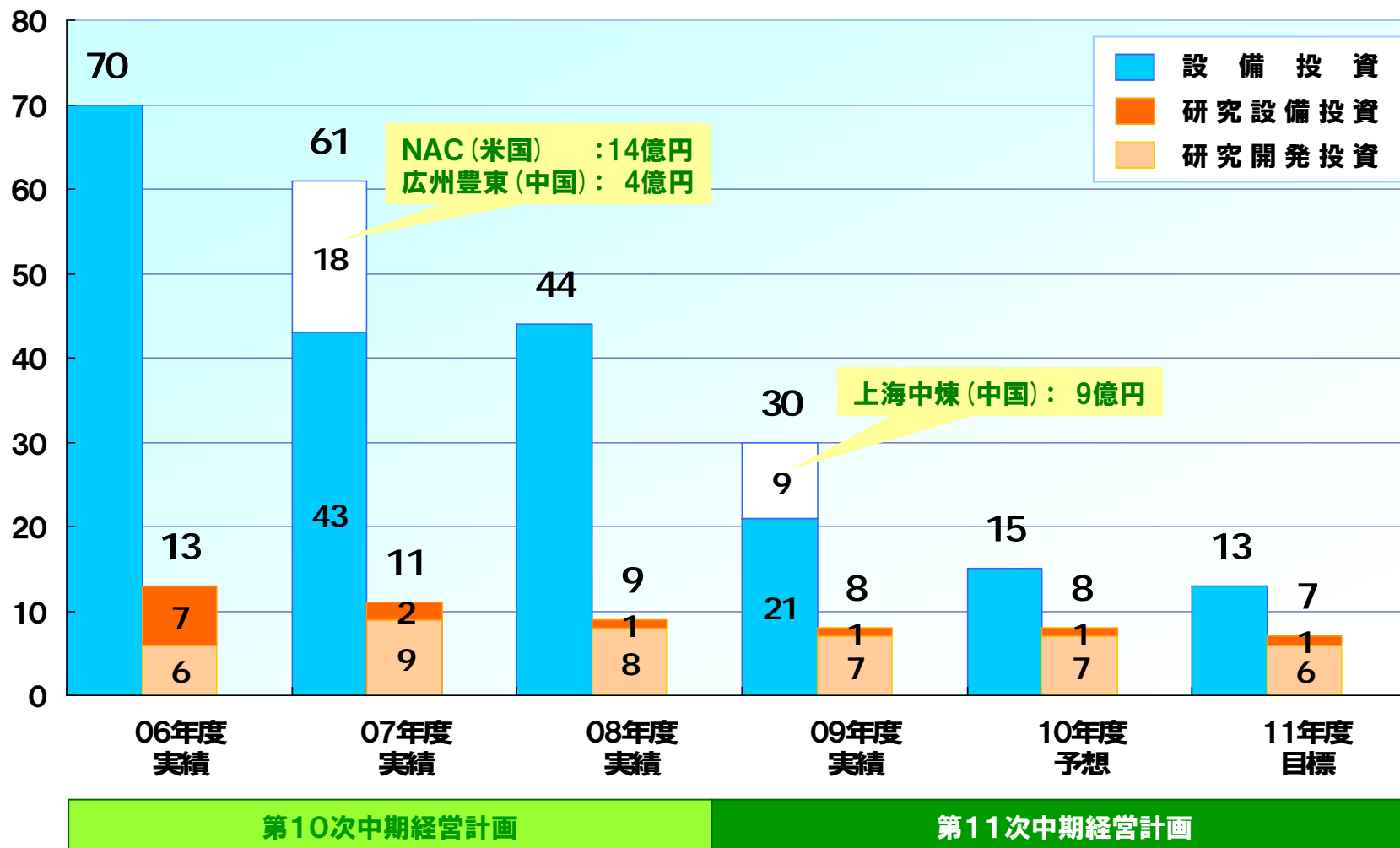
(単位:%)



17

設備投資・研究開発投資

(単位:億円)



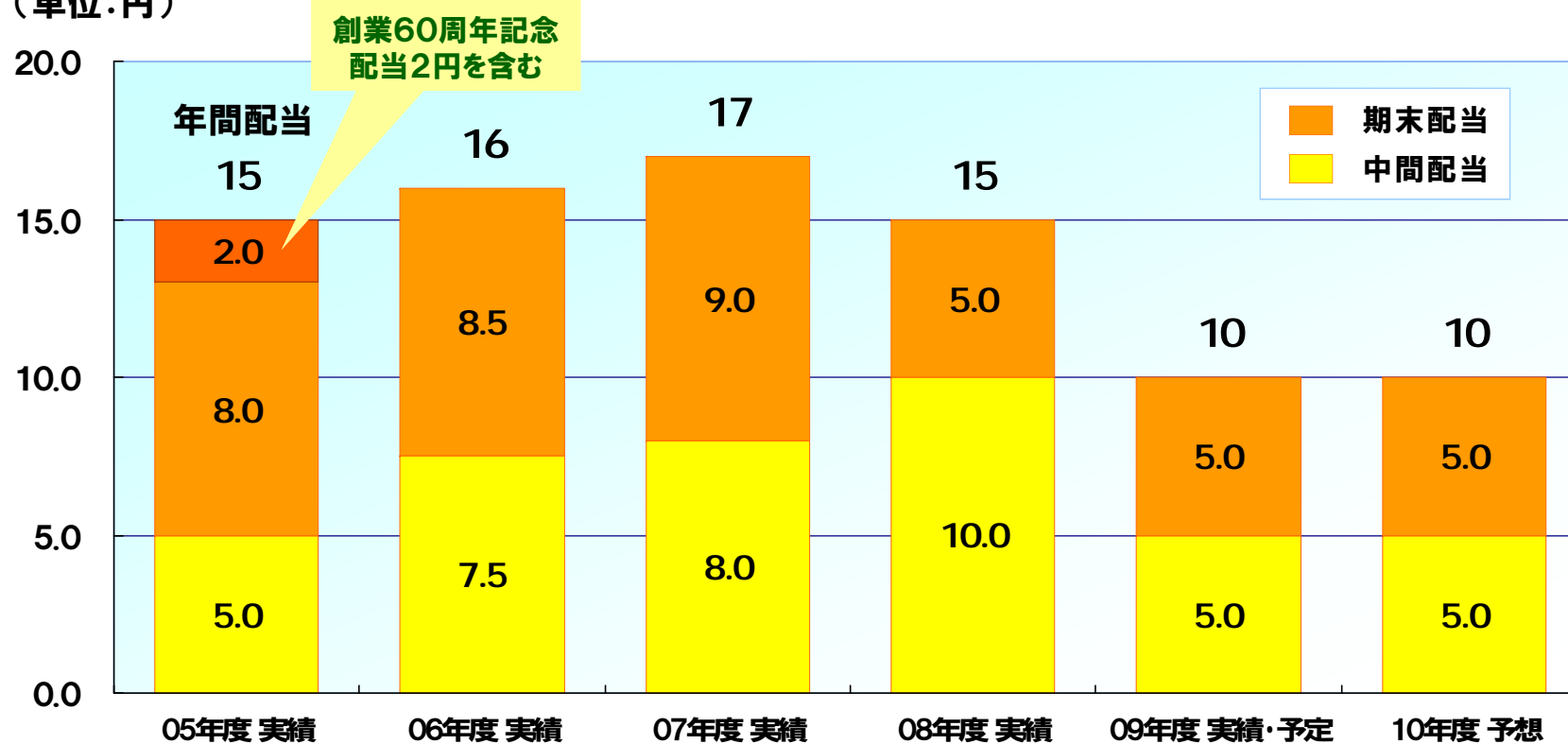
18

配当政策

基本方針

当社グループを取り巻く経営環境および業績等を踏まえ、安定した配当にも意を用い、総合的に勘案のうえ、決定していく。

(単位:円)



Ⅲ 2010年(平成22年)3月期 連結決算の概要



1. 2010年3月期は、足元関連業界の一部において景気回復が見られたものの、世界同時不況の影響を強く受け、前年度実績比で、大幅な減収・減益決算となった。
2. 不況・デフレが進行する中、タイムリーに聖域なき緊急経営改善策を実行したほか、2009年12月には、持続的な成長実現を目的とし、第11次中期経営計画を策定し、即実行している。
3. 先行き不透明感が強い中、フリー・キャッシュフロー黒字を維持しているほか、実質的に無借金、また、自己資本比率が改善するなど、引き続き、財務体質は、改善基調にある。
4. セグメント別では、
 - 製品事業部関連事業は、内需の不振を背景に需要が低迷し、この結果、通期で異形PC鋼棒、せん断補強筋とも前年度比で販売量が減少、また、販売価格が下落したこともあり、売上高、営業利益とも減少した。
 - 加工・電機関連事業は、第2四半期以降、主に自動車業界、建設機械業界、また、工作機械業界からの受注が回復基調にあるものの、世界同時不況の影響を強く受け、通期では大幅な減収、また、営業損失を計上した。
5. 2010年3月期第4四半期(単独期間)業績については、前年度同期比および前第3四半期比ともに売上高は増収、また、営業利益は増益となった。

(単位:百万円・%)

	2009年 3月期	2010年 3月期	増 減	増減率
売 上 高	40,846	30,423	△10,423	△25.5
営 業 利 益	3,507	236	△3,271	△93.2
経 常 利 益	3,887	644	△3,243	△83.4
当 期 純 利 益	1,353	324	△1,029	△76.0
R O A	6.0	1.1	△4.9	-
R O E	2.9	0.7	△2.2	-

(注) ROA = 経常利益 / 資産合計 (当年度末・前年度末の平均値) × 100(%)

ROE = 当期純利益 / 純資産合計(当年度末・前年度末の平均値) × 100(%)

(単位:百万円・%)

	2009年 3月期 第4四半期	2010年 3月期 第3四半期	2010年 3月期 第4四半期	前年度同期比		前四半期比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
製品事業部関連事業	4,280	4,135	4,029	△ 251	△ 5.9	△ 106	△ 2.6
加工・電機関連事業	4,614	3,101	4,937	323	7.0	1,836	59.2
賃貸他	149	124	125	△ 24	△ 16.1	1	0.8
売上高	9,044	7,362	9,092	48	0.5	1,730	23.5
製品事業部関連事業	171	296	141	△ 30	△ 17.5	△ 155	△ 52.4
加工・電機関連事業	△ 27	△ 200	216	243	-	416	-
賃貸他	79	98	90	11	13.9	△ 8	△ 8.2
営業利益	223	194	448	225	100.9	254	130.9
経常利益	203	413	511	308	151.7	98	23.7
四半期純利益	△ 261	276	314	575	-	38	13.8

22

事業の種類別セグメント情報(連結売上高)

(単位:百万円・%)

事業区分	主な製品	2009年 3月期	2010年 3月期	増 減	増減率
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	21,068	16,663	△4,405	△20.9
加工・電機 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品等	19,249	13,265	△5,984	△31.1
賃貸事業他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	528	493	△35	△6.7
合 計		40,846	30,423	△10,423	△25.5

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

23

事業の種類別セグメント情報(連結営業利益)

(単位:百万円・%)

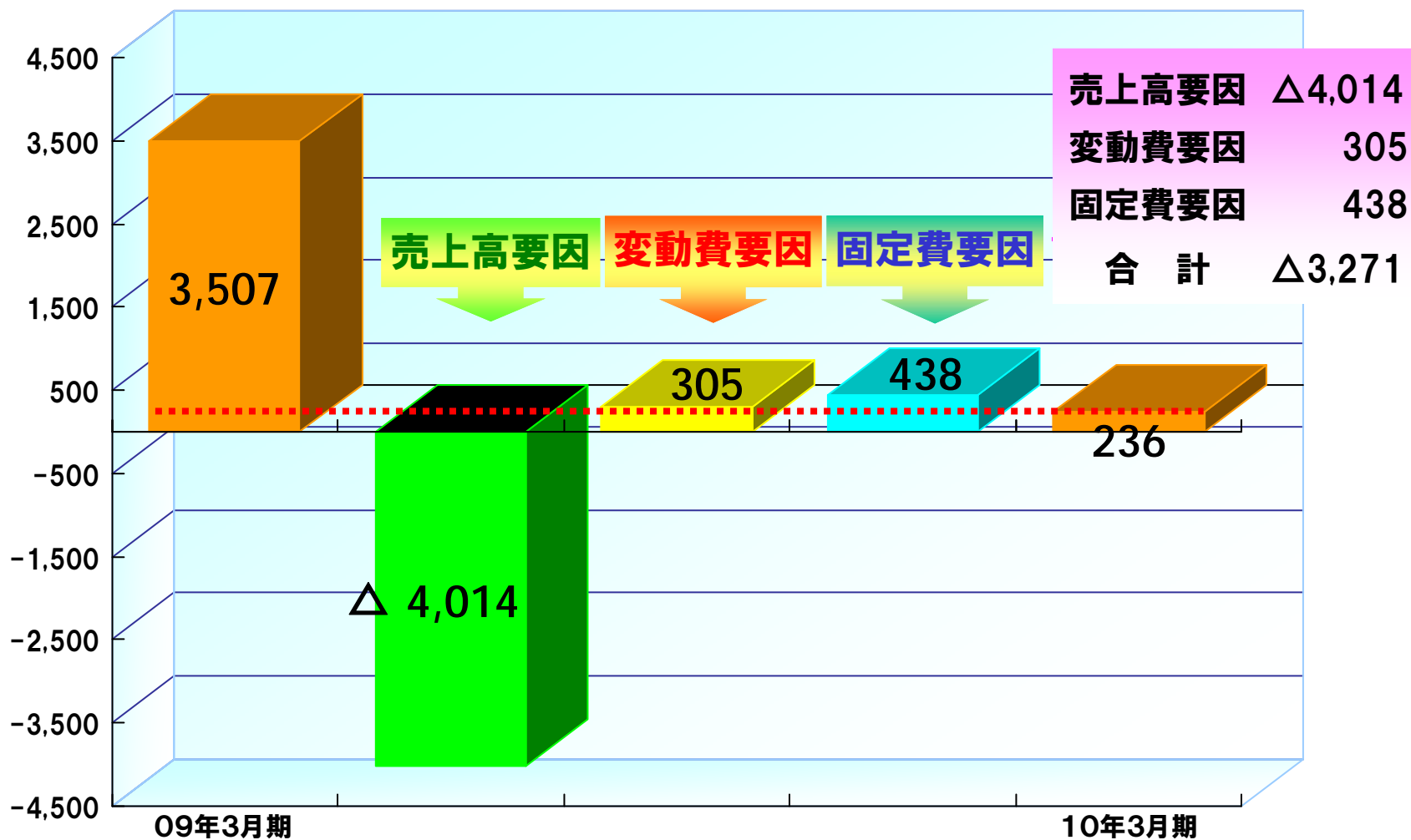
事業区分	主な製品	2009年 3月期	2010年 3月期	増 減	増減率
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	1,818	797	△1,021	△56.2
加工・電機 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品等	1,368	△931	△2,299	-
賃貸事業他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	320	370	50	15.7
合 計		3,507	236	△3,271	△93.2

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

24

連結營業利益増減内容

(単位:百万円)



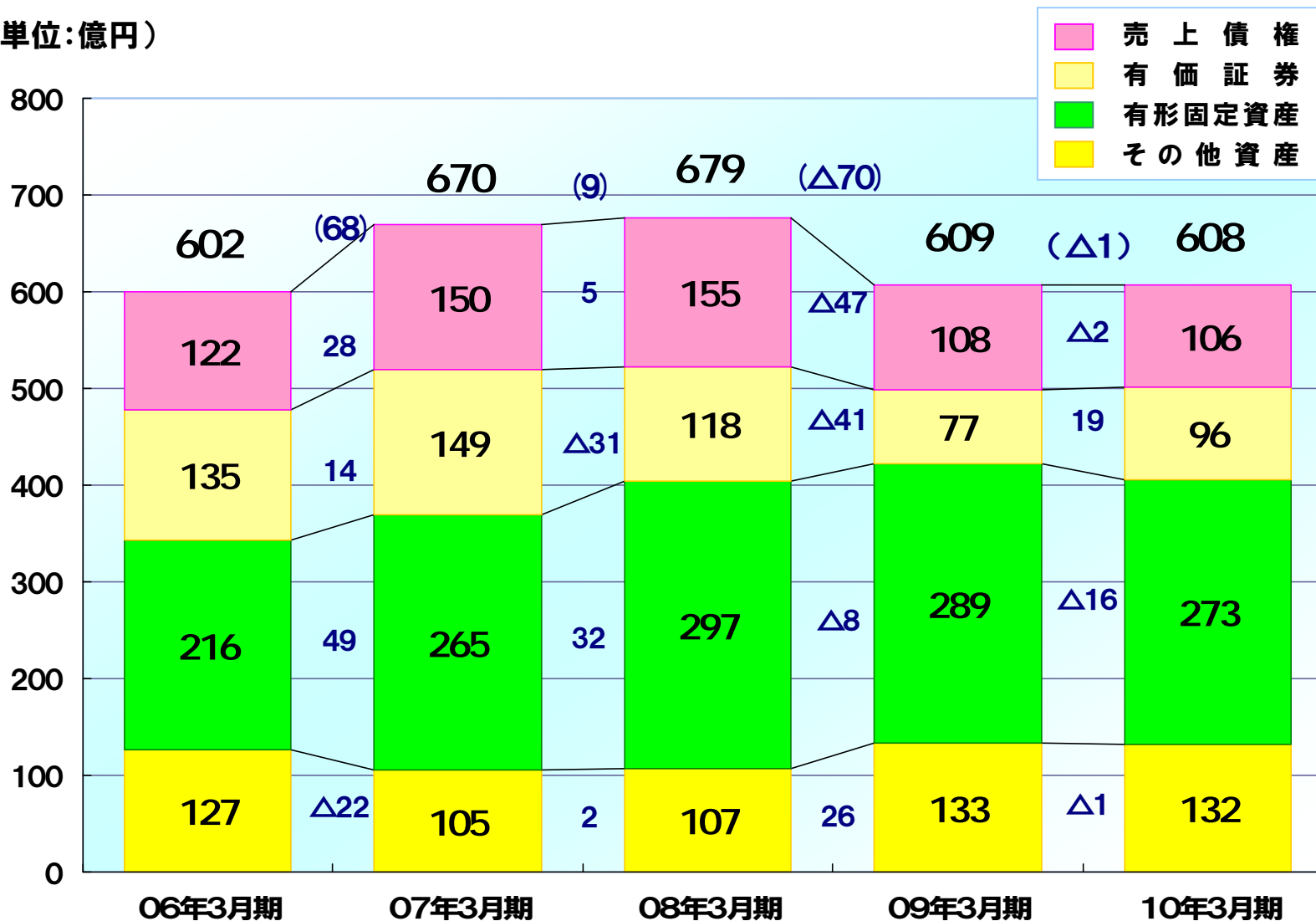
比較連結損益計算書

(単位:百万円・%)

科目	期別	2009年 3月期	2010年 3月期	増減	増減率
売上高		40,846	30,423	△ 10,423	△ 25.5
売上原価		31,842	25,230	△ 6,612	△ 20.8
売上総利益		9,004	5,192	△ 3,812	△ 42.3
販売費及び一般管理費		5,496	4,955	△ 541	△ 9.8
営業利益		3,507	236	△ 3,271	△ 93.2
営業外収益		612	554	△ 58	△ 9.4
営業外費用		231	147	△ 84	△ 36.4
経常利益		3,887	644	△ 3,243	△ 83.4
特別利益		619	1,055	436	70.2
特別損失		2,853	645	△ 2,208	△ 77.4
税金等調整前当期純利益		1,653	1,053	△ 600	△ 36.3
法人税、住民税及び事業税		506	552	46	9.0
過年度法人税等		73	-	△ 73	-
法人税等調整額		△ 699	310	1,009	-
少数株主損益		419	△ 134	△ 553	-
当期純利益		1,353	324	△ 1,029	△ 76.0

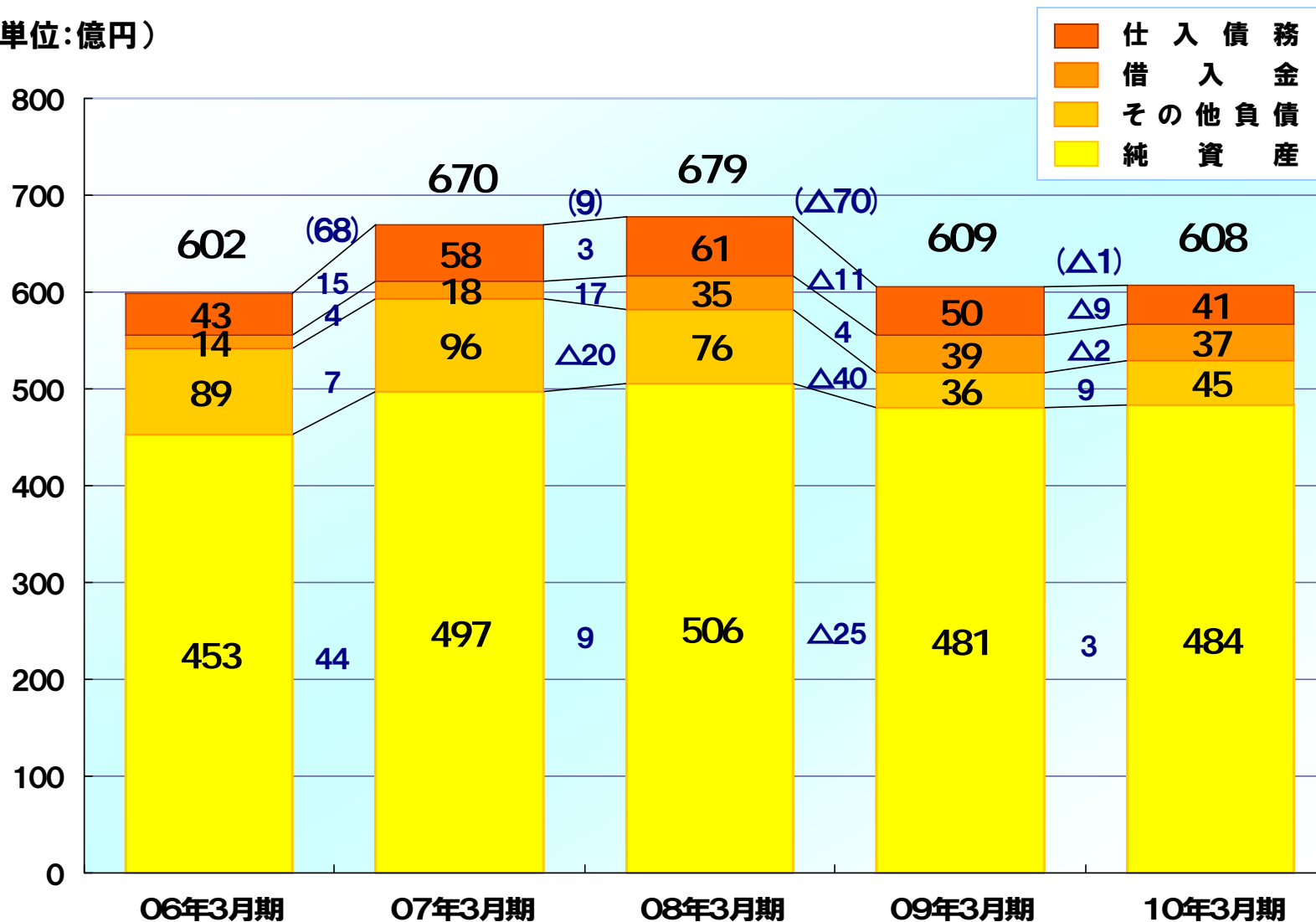
2010年3月期 資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



2010年3月期 負債・純資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



2010年3月期 キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

科 目	2009年 3月期	2010年 3月期	対前年同期比 増 減
税金等調整前当期純利益	1,653	1,053	△ 600
減価償却費	3,151	3,044	△ 107
売上債権の増減	4,568	189	△4,379
仕入債務の増減	△979	△ 961	18
その他	△2,322	1,275	3,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,071	4,601	△ 1,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,558	△ 3,076	1,482
フリーキャッシュ・フロー	1,513	1,525	12
借入金	413	△ 248	△ 661
自己株式の取得	△301	△ 352	△ 51
配当金の支払額	△838	△ 435	403
その他	304	△ 64	△ 368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△422	△ 1,101	△ 679
キャッシュ・フロー期末残高	6,923	7,346	423

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期
① 自己資本比率	75.3	72.4	71.4	74.9	75.7
② 時価ベースの自己資本比率	105.1	87.4	62.6	40.8	50.7
③ キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.5	0.5	0.6	0.7	0.8
④ インタレスト・カバレッジ・レシオ	79.0	67.6	78.4	68.5	45.4

1. 2011年3月期においては、緩やかな景気回復が見込まれるため、前年度比で、売上高は22%程度の増収、また、営業利益は大幅増益を見込む。
2. 確実な投資回収を実現するほか、経営改革を断行することにより、持続的成長の実現、そして、より強靱な企業体質構築に注力する。
3. セグメント別では、
 - 製品事業部関連事業は、高強度ばね鋼線(ITW)等の販売量の増加を見込むほか、上海中煉線材有限公司等の連結子会社においても業績の改善を見込み、通期で増収、増益を見込む。
 - 加工・電機関連事業は、自動車、建設機械、工作機械業界からの受注が順調に回復するものと見込まれ、通期で、前年度比で大幅な増収、また、営業損失からの黒字転換を見込む。
 - 賃貸事業他は、当社がオーバルコート大崎マークウエストに所有する賃貸フロアの一部を売却したことに伴い、減収・減益を見込む。

事業の種類別セグメント情報(連結売上高予想)

(単位:百万円・%)

事業区分	2010年 3月期	2011年 3月期 (予 想)	増 減	増減率
製品事業部 関連事業	16,663	18,500	1,837	11.0
加工・電機 関連事業	13,265	18,480	5,215	39.3
賃貸事業他	493	220	△ 273	△ 55.4
合 計	30,423	37,200	6,777	22.3

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

事業の種類別セグメント情報(連結営業利益予想)

(単位:百万円・%)

事業区分	2010年 3月期	2011年 3月期 (予想)	増減	増減率
製品事業部 関連事業	797	1,250	453	56.8
加工・電機 関連事業	△ 931	780	1,711	-
賃貸事業他	370	170	△ 200	△ 54.1
合計	236	2,200	1,964	828.4

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

(単位:百万円)

	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期 (予想)
設備投資額	4,291	4,382	3,013	1,550
減価償却費	2,763	3,151	3,044	2,870

企業価値向上のため、以下の財務・資本政策を実行する。

1. 資産・資本効率の向上 (ROA・ROEの改善)	
(1) 資産圧縮策の実行	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保有意義を吟味のうえ、有価証券の売却 ○ 棚卸資産等の圧縮
(2) 資本政策の実行	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な配当政策の実行 ○ 機動的な自己株式取得 ○ その他の施策
2. 資産の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 選別的設備投資およびR&D投資 ○ 内外投資の早期回収 ○ 手元資金の有効活用および収益力改善
3. 時価総額の増加	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営効率化の遂行 ○ IR活動の継続・強化 ○ 内部統制, コンプライアンス, CSRの強化 ○ 地球温暖化ガス削減に向けた取り組み強化
4. 企業価値の防衛	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業価値向上および株主重視経営実践 ○ コア株主との戦略的連携強化 ○ 適切な買収防衛策の運用
5. 第11次中期経営計画の実行	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営環境が激変するなか、経営改革を断行し、企業価値を回復、改善する。



(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、公表時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。